



九州・沖縄


19 団体

福岡工業大学附属城東高等学校

科学部 生物班

博多湾におけるアマモのより良い移植法の検討

竹割りばしと麻ひもを用いて「博多湾方式」でのアマモの移植を行っています。移植後、実際にアマモの成長を観察していくうちにアマモが定着し、自分たちの活動が環境保全に繋がっているとうれしくなりました。これからも海を環境をより良くしていきます。




博多女子高等学校

地域共創部

糸島の牡蠣をカッキづけよう!

新型コロナウイルスの影響で牡蠣が大量に余り、また多くの牡蠣殻が排出されている現状を知りました。私たちは余った牡蠣を加工して牡蠣みその販売促進を行いフードロス削減に貢献しました。牡蠣殻の肥料を家庭で作れることを広めることができました。




福岡県公立古賀竟成館高等学校

家庭クラブ

SDGs 万華鏡"KAGUYA" プロジェクト

山側と海側の小学校と連携して、山の問題である竹と海の問題でシーグラスを使って、児童一人ひとり万華鏡を作成します。万華鏡を通して「少し動けば景色が変わる」SDGsの目標達成だけでなく、どんな困難も自分が動き始めると状況は変わると伝えたい。




大分県立大分商業高等学校

商業調査部

食品ロスさせない連携 ～規格外トマトを活用した商品開発～

廃棄されてしまう規格外トマトを活用した商品開発に挑戦し、オリジナル商品「とまドレ・とまソース・とまみそ」を開発。ごみが商品として生まれ変わる「食品リサイクルループ」を実現した商品で、未来の地球環境を、みなさんと一緒に創る商品でもあります。




大分県立大分工業高等学校

DAIKO水車プロジェクトチーム

脱炭素を図りながら、再生可能エネルギーで、通学路の夜道を照らす取り組み

「通学路の夜道で女子高生が襲われた」というショッキングなニュースが飛び込んできた。現地には水力発電に適した川があり、メンバーは水車で発電し防犯灯を照らすことを思いつく。放課後や休日などを利用して水車を製作。特許申請中の技術も生まれている。




佐賀県立鳥栖商業高等学校

鳥栖クローバープロジェクト・流通経済科

自然環境の保全とサステナビリティな社会構築にむけて地域課題への取組

地域の企業とコラボしたオリジナルのパンやアイスクリームの新商品開発、「はぜろう」という伝統的な工業製品の新しい商品を開発するなど、活動範囲は多岐にわたります。鳥栖市の北、基山町の皆さんとともに取り組む環境保全と商品開発に関する研究をしています。




熊本県立熊本農業高等学校

養豚プロジェクト

廃棄豚脂の有効活用に関する研究 ～養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦～

本校で豚肉の豚脂を廃棄していることに気づき、廃棄豚脂の有効活用を図り廃棄ゼロを目指しました。挑戦の結果、市販に比べ1.7倍洗浄力が高い洗濯用石鹸が出来上がりました。養豚業におけるゼロエミッションを達成し、持続可能な生活を実現させたいです。




熊本県立宇土高等学校

不知火探検隊

不知火(しらぬい)のことを知ってるかい? ～不知火研究から見た環境変化～

不知火の観測や実験を行い、様々な環境が変化していることが分かってきました。不知火のような美しい現象が環境問題で失われるのは大変寂しく、これ以上悪化させてはならないという強い思いで、今後も研究や発表を行い積極的に広報活動を続けていきます。




長崎県立松浦高等学校

まつナビ8班

SASTAINABLE×松浦

持続可能な松浦市を作るために、環境に配慮した方法で廃油を処理できないかと考え、地元企業の協力のもとアジフライ型の廃油石鹸を試作品として製作しました。この活動とおして多くの人が家庭での廃油の処理を見直すきっかけになることを目指しています。




長崎県立佐世保西高等学校

佐世保西24班

カラスとの共生に向けて

身近にいて、地域で実際にゴミ荒らしの原因になっているカラスに着目しました。市役所などに電話でカラスについての情報を収集し、フィールドワークを行い周辺地域のゴミ捨て場の状況を調べ、ポスターを制作しました。今後はその効果を見ていきたいです。



長崎県立佐世保西高等学校

H&M

ランドセルリメイク

ごみを減らすためにランドセルをリユースする。きっかけは班員が家族とランドセルの処分について話したことです。使わないからゴミだと思っていた素材の味を生かしてリメイクすれば別のものとして使うことができると知り、SDGsを身近に感じることができました。

